



平成 30 年 5 月 15 日

各 位

会社名 株式会社 イード
代表者名 代表取締役 宮川 洋
(コード：6038、東証マザーズ)
問合せ先 管理本部 本部長 久岡 千恵
(TEL. 03-5990-5330)

平成 30 年 6 月期通期の業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、平成 29 年 8 月 10 日に公表した平成 30 年 6 月期通期（平成 29 年 7 月 1 日～平成 30 年 6 月 30 日）業績予想につきまして、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 30 年 6 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 29 年 7 月 1 日～平成 30 年 6 月 30 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1 株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	4,401	110	110	50	10.10
今回修正予想（B）	4,450	200	200	50	10.10
増減額（B－A）	48	90	90	-	
増減率（％）	1.1	81.8	81.6	-	
（ご参考）前期実績 （平成 29 年 6 月期）	4,399	87	90	△437	△88.54

2. 通期業績予想修正の理由

売上高については、コンテンツマーケティングプラットフォーム事業（CMP 事業）、コンテンツマーケティングソリューション事業（CMS 事業）ともに、堅調に推移しております。

営業利益につきましては、CMP 事業において収益の構造改革により想定以上の改善がみられ、前回発表予想を上回るペースで推移しております。例年、第 4 四半期会計期間は多くの顧客企業の期初であり 1 年の中で最も閑散期にあたることから、営業利益を大きく積み増すことは想定しがたいものの、当第 3 四半期累計期間までの進捗状況等を考慮すると、前回発表予想を上回る見込みです。それに伴い、経常利益も前回発表予想を上回る見込みです。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、当第 3 四半期連結累計期間において、前回の業績予想発表時には想定していなかった特別損失の計上等が発生したことから、前回発表予想を据え置いております。当第 3 四半期会計期間に発生した特別損失の計上につきましては、平成 30 年 5 月 15 日公表の「特別損失の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

（注）本資料に記載されている業績予想等将来に関する内容は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確実な要因にかかわる本資料発表日現在における仮定を前提としており、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる可能性があります。

以 上